



東広会ニュース

10月号

2008年(平成20年)

Vol.52

発行所 東京都渋谷区恵比寿南1-5-5
JR恵比寿ビル14F

東日本鉄道東京広告会

電話 03(5447)7928

E-MAIL info@tokokai.jp

「企交媒局」2008年度上半期売上」まとまる

2008年度上期の売上実績がまとまった。交通媒体局の売上高は222億58百万円で前年比97.6%、対前年558百万円の減収となった。中でも、中づり(前年比88.7%、▲5億円)、まど上(▲25億円)、駅ポスター(▲3.3億円)、SPメディア(▲1.8億円)の出稿低迷が大きく影響した。

○車両メディアの概況(前年比98.4%)

「3線群中づり」は、4月より新商品として販売を開始した「女性専用車中づりジャック」が好調であったものの、引き続き出版社の出稿が減少(▲3.1億円)したこと、大口出稿減等、6月からの全体的な出稿低迷により、対前年5.0億円の減収となった。

「3線群まど上・ドア上」はトレインチャンネル導入車両増加に伴うドア上枠が減少(▲14百万円)したこともあるが、中づり同様、全体的な出稿低迷により対前年25億円の減収となった。「ドア横新B」ステッカーの販売は、堅調に推移した。

「ADトレイン等」は山手線およびアドストラップへの出稿減により、「車体広告」は、山手線への出稿減等により、減収となった。

「トレインチャンネル」は、2008年3月末の中央線全編成導入および2007年12月から京浜東北線への導入を開始し、各種商品の見直しを実施し、販売も好調であった。

○駅メディアの概況(前年比95.5%)

「駅ポスター」は、「新宿アルプスセット」等の新商品の販売や各種「企画商品」の積極的な販売に努めたが、大口出稿減等、全体的な出稿低迷により、対前年3.3億円の減収となった。

「SPメディア」は、「秋葉原駅中央改札内壁面ツインシート広告」「品川駅中央改札大型フラッグ広告」等の新規媒体の開発を行ったが、NTTドコモ・KDDIの大口出稿減等により、対前年18億円の減収となった。

「サインボード」は、越谷レイクタウン駅・蒲田駅等の駅改良工事に伴う媒体開発、「ベンチ広告」「駅周辺案内図広告」の媒体リニューアル、立川駅・駒込駅の老朽化した媒体の整備、山手線新20面セットの開発等により、対前年72百万円の増収となった。駅周辺案内図広告では、SuiPo機能を付加したナビタッチを開発した(6駅8

台)。「フリーペーパーラック」は56箇所を追加設置した。「店舗ラッピング広告」は伊藤園を新宿駅で設置した。次世代デジタルメディアとして、「デジタルポスター」の実証実験を7月14日から3ヶ月にわたり実施し、10月より正式媒体として販売を開始した。

＜2008年度上半期実績＞

(単位:百万円)

媒体	2007年度上半期	2008年度上半期	増減	前年比
車両メディア	車内ポスター	11,623	10,931	94.0%
	ADトレイン等	573	501	87.5%
	車体広告	420	404	96.2%
	トレインチャンネル	1,164	1,719	147.6%
	計	13,780	13,555	98.4%
駅メディア	駅ポスター	2,468	2,136	86.6%
	SPメディア	1,443	1,266	87.7%
	サインボード	4,514	4,587	101.6%
	フリーペーパーラック ラッピング店舗	470	510	108.4%
	計	8,896	8,499	95.5%
その他(※)		140	204	145.8%
合計		22,816	22,258	97.6%

※オレンジカード・調査・ステーションチャンネル・デジタルポスター・SuiPo mini 等

東広会「第2回国内広告研修」を実施

■はじめに

さる9月25日(木)から26日(金)にかけて、一泊二日の行程で東日本鉄道東京広告会の主催による「第2回国内広告研修」が実施された。これは、国内の景気動向が低迷する中、県外からの資本が次々投入され、アウトレットも相次いで開業(9月/三井アウトレットパーク仙台港(MOP仙台港)、10月/仙台泉プレミアム・アウトレット(仙台泉PO)するなど、注目される仙台エリアにおいて、交通広告等の現状を視察するもので、「東広会」国内研修である。

研修には30名が参加し、仙台市交通局広告業組合加盟社、J企仙台北支店等、現地広告関係者と活発な意見交換が行われた。

極めて限られた時間の中での視察であったが、以下に雑感をまとめた。(文責・総務委員会前川/J企)。

■国内広告研修について

○JR仙台北視察

仙台駅は南東北の表玄関として2008年3月にJR20周年事業の一環として改装が施されイメージを一新した(詳細は佐藤俊一郎氏講演記事参照)。

新幹線ホームから2F中央コンコースに向かうと10月からスタートする

仙台・宮城デザインেশョンキャンペーンイベントが展開されていた。改装工事と並行して媒体改修も実施され、特に壁面媒体は、媒体間の間隔を十分に確保して煩雑さを解消するとともに、大型モジュール化された媒体で、整然とした景観を形成し視認性の向上と駅環境の美化が図られている。

東側欄間は、旧仙台駅舎にあった大時計が復刻され仙台北市民からは好評を博している。欄間は大型モジュール化されただけでなくLEDを使用(1面あたり約2600個)し環境面にも配慮している。コンコースに

聳える柱周りにはクイックビジョン(W1200×H1800)が設置されている。在来線改札口外の2Fコンコースの柱にはLEDを使用した媒体、新幹線改札口外の3Fコンコースにはタッチナビタが設置されている。また、2階ラッチ内も改装されラック付媒体が設置されている。これらの媒体はJ企仙台北支店媒体部の協力のもと視察を実施した。

○市営地下鉄仙台駅視察

市営地下鉄仙台駅では、電子ポスターを利用したサインボードが昨年12月から実験運用されており現在は広告を募集している。これらの媒体は近宣仙台支店の協力のもと視察を実施した。



▲仙台駅コンコース ▶クイックビジョン



▲▶仙台駅外観と整備された壁面媒体を視察



▲タッチナビタ(新幹線改札外)



▼電子ポスター(地下鉄仙台駅)



▲説明を熱心に聴く参加者(中央:近宣仁田氏)



▶地下鉄仙台駅・ビッグボード

○仙台空港アクセス鉄道視察
 仙台空港アクセス鉄道を視察、仙台空港駅は空港と直結しており航空会社等の広告が多様に展開されている。これらの媒体はJ企仙台支店媒体部および近宣仙台支店の協力のもと視察を実施した。



▲仙台空港駅と仙台空港での視察

■まとめ

東広会として昨年に続いて実施する国内広告研修ということもあり、スケジュール構成については多少柔軟性をもたせたが、参加者の意欲は高く、見学・講習においては活発な質問があり、内容的には充実したものでなかったと思われる。今後の研修をどのようなものにしていくべきかは、これからじっくりと検討していきたい。



「JR仙台駅サインボード改修の考え方」 佐藤俊一郎氏(J企常務取締役仙台支店長)講義

この講義はJR仙台駅サインボード改修工事の背景と、実施にあたっての取り組みについて実務を推進した佐藤俊一郎J企常務取締役仙台支店長から直接お話を伺うために開催された。

佐藤氏は不況の中、仙台へ大規模な投資(工場進出、大規模商業施設の進出等)が活発に行われており、本年10月から仙台・宮城デスティネーションキャンペーンが開始されることもあり、JR 20周年施策として仙台駅が大規模改修されることを契機に媒体改修を強力にかつ迅速に推進された経緯と苦勞を語った。



講義をするJ企常務取締役仙台支店長佐藤俊一郎氏



リニューアルされたJR仙台駅(中央が復刻された大時計)

美しくなくては媒体価値はない

旧来の仙台駅の媒体は、無秩序に次々と開発され、収入面からはある程度の成果があったが、その半面、媒体環境は低下していた。国内はもとより海外のお客様を迎える玄関口の仙台駅として、美しい杜の都「仙台」を印象付ける洗練された空間をJRおよびJRグループ一体となつて創出し、好印象をあたえたい。こういう思いを実現するために、部分的な手直しではなく、全面的な改修を決意、一時的には収入も減少し、会社としても多額な投資を必要とする事業を仙台支店だけではなく本社

も巻き込んだプロジェクトとして強力に推進。その基本には「美しくなくては媒体価値はない」という思いを強くもち続けた佐藤氏の姿勢を受講者は強く感じていた。

媒体改修にあたっては、モジュール化等サイズ面での統一感を持たせると同時に、LED光源を積極的に使用し、媒体の背景に「消し炭色」を使用する等、前例にとられない手法も積極的に取り入れ、結果として、広告主から高い評価を獲得。媒体稼働率も高水準を維持している。

講義終了後には質疑応答の時間も設けられ多くの質問があったが、佐藤氏はひとつひとつ丁寧に答えていたのが印象的だった。



佐藤氏の講義に熱心に聞き入る研修参加者



改札口からKIOSKを繋ぐ「レッドカーペット広告」登場！

駅の改札を通るとその先にはレッドカーペットが、という斬新な展開が9月23日(火)から29日(月)まで行われた。新宿・池袋・新橋・上野駅の4駅4箇所、各駅の改札口からKIOSKまでの導線上に、レッドカーペットに見立てたフロア広告を展開し、お客様をKIOSKへと誘導を図る広告展開。広告主はアサヒ飲料(株)で、「ワンダ モーニングショット」の商品認知と購入喚起を狙っている。



改札口からKIOSKをつなぐ
「レッドカーペット広告」(新宿駅)



KIOSK店舗ではPOPも展開された

口改札から南口改札外KIOSKまで約10^分、新橋駅土橋改札から土橋改札外KIOSKまで約6^分、上野駅中央改札から中央改札内KIOSKまで約17^分のフロア広告が展開された。

同時に首都圏のKIOSK店舗177店舗内では、POPを設置し商品のアテンションを高めた。

渋谷で空を飛ぶ。
Googleでも飛ぶ。

JR 渋谷駅近くのタワーレコード横のスペース（旧給電所跡）で「山手線に乗っているあなたも渋谷で空を飛べる。」というイベントが10月2日(木)から12日(日)まで行われた。広告主はグーグルでグーグルを使った検索回数



渋谷旧給電所跡で展開されたイベント



山手線で展開されたGoogleのADトレイン

第9回ゴルフ大会成績

東広会主催の第9回ゴルフ大会が10月17日(金)嵐山カントリークラブで47社62名が参加し開催された。
成績は次のとおり。

優勝 稲川 一氏 (株)文宣
2位 米谷 知朗氏 (株)クオラス
3位 中野 一郎氏 (株)毎日広告社

会員名簿変更

• 代表者変更

湘南ステーションビル(株)(6月25日付)
代表取締役社長 吉田 宏美氏

(株)創芸
代表取締役社長 池田 公俊氏
(8月14日付)

(株)アドギア
代表取締役社長
（9月1日付）
小山 範親氏

・住所変更

〒102-0072 (株)角川メディアハウス(9月29日付)

東京都千代田区飯田橋1・12・7
飯田橋センタービル8F
※電話・FAX番号は変更なし

(株)東京企画
(10月20日付)

千葉県柏市泉町 10-16

F	T
A	E
X	L
0	0
4	4
,	,
7	7
1	1
6	6
0	0
,	,
3	3
5	5
0	0
2	1

・ FAX番号変更
(9月27日付)

(株)相鉄エージェンシー

※電話番号は変更なし
FAX 045・450・1818

・社名変更
(11月1日付)

(株)DGコミュニケーションズ
(前)株創芸